

The 2 Chome Times 平成29年8月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO231.

2017・8・25

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス8月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★土佐清水市表敬訪問



8月2日(水)、ジョン万次郎の生誕の地である土佐清水市を表敬訪問し、泥谷(ひじや)土佐清水市長にお会いしました。前日、夕刻に高知市内に入り、翌朝8時前にホテルを出発、車で約3時間の道のりを経て11時前に土佐清水市役所に到着致しました。早速、泥谷市長をはじめ、「ウェルカムジョン万の会」の田中ご夫妻、四国銀行清水支店竹崎支店長(震災時に神戸支店で勤務されていたそうです)を交えて、1時間近くお話しをさせていただきました。久利理事長から、今後は「KOBE 夢・

未来号・沖縄プロジェクト」で繋がりを深めている沖縄をはじめ、島田叡元沖縄県知事と最後まで行動を共にされた荒井退造沖縄警察部長のご出身地である栃木県、神戸市、そして土佐清水市の4者でスクウェアの関係を築き、情報の共有、発信を深め、良い関係を作っていきたい旨の気持ちを泥谷市長にお伝えいたしました。

泥谷市長からも「是非、お願いしたい」との快諾の御返事を頂きました。また、NHKの大河ドラマの題材として「ジョン万次郎」を取り上げてもらうようPR活動を行っているとの意向を受け、神戸としても是非、協力できることはさせて頂くとお伝えいたしました。余談ながら、土佐清水市のアンテナショップとしてまた土佐の美味しい物を集めたお食事処として神戸市内に店舗展開している「土佐清水ワールド」(7月に四国銀行神戸支店の向いにもオープン)もよろしくとのお願いもありました。その後、ジョン万次郎資料館を訪ね、「ウェルカムジョン万の会」の田中さんから説明を受け、ジョン万次郎の偉大さを学ばせて頂き、午後2時頃、土佐清水市を後にし、夜10時過ぎに神戸に戻ってまいりました。最後に今回の土佐清水市訪問では、ご多忙の中、四国銀行様には何かとお世話になりました。四国銀行様、ありがとうございました。



ジョン万次郎資料館 住所：土佐清水市養老303 駐車場150台 TEL0880-82-3155

営業時間：8:30～17:00 年中無休 2017年10月1日から2018年3月31日まで改装のため休館です

詳しくはホームページ <http://www.johnmuung.info/>でご確認ください

土佐清水ワールド三宮中央通り店 住所：神戸市中央区三宮町2-6-6 四国銀行東隣 TEL:050-3491-9950

営業時間 ランチ11:30～14:00 デイナー16:30～24:00 土日祝 11:30～24:00 年中無休

詳しくはホームページ <https://r.gnavi.co.jp/1mbh1h700000/>でご確認ください。

★毛利マークさん、100年の歩み！



1914年(大正3年)に毛利岩太郎氏が現在地で創業した「毛利マーク」さん。現社長で2丁目振興組合の理事でもある藤井淳史さんが神戸新聞元記者の熊谷信哉さんの協力なども得て「毛利マーク百年史」の小冊子を発行されました。この小冊子はさすがに「100年史」だけあって単に一家族の歴史やその隆盛を記してあるのではなく、開港150周年になる神戸の歴史と深く関わっていて大変興味深く読んで頂けます。

愛知出身の岩太郎氏が七宝焼き職人であったこと、なぜ創業の地に神戸を選んだのか、岩太郎氏の養子で二代目の保一さんが戦前シンガポールに渡って日本製品の輸出に取り

組まれたことなども記されています。毛利マークはNHK連続テレビ小説「べっぴんさん」に登場した子供服メーカーのモデル、ファミリアの前身「ベビーショップ・モトヤ」の真向かいに位置し、小冊子に掲載された昔の写真の背景には、オープン時の同店らしき店も写っています。ご興味のある方は毛利マークさんに行けば、無料で配布していますよ。

★豊田市美術館

先日、再度豊田市美術館に行って参りました。2丁目タイムス6月号で「唐招提寺御影堂障壁画」をご紹介しましたが、この度は奈良美智（ならよしとも）さんの作品を観に行ってきました。

奈良美智は世界的に評価されている美術作家で、ニューヨーク近代美術館（MoMA）やロサンゼルス現代美術館に作品が所蔵されるなど、日本の現代美術の第二世代を代表するお一人です。こちらを見返す人物をモチーフにしたドローイングやアクリル絵具による絵画が特徴的で、この点がよく知られ世界的に評価されている美術作家です。ユニークな表情をした少女の作品は所謂「きもかわいい」独特の雰囲気醸し出しています。平日に行きましたが多くの来館があり、特に若い女性が多くて少し驚きました。それぞれの作品の題名に画家の意図が感じられ、大変興味深く観ることができました。館内にはショップが併設されており、作品をモチーフにした小物が沢山用意され、お買い物好きな女性にはたまらないのではないのでしょうか。是非一度ご覧になって下さい！

豊田市美術館 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1 Tel.0563-34-6610 www.museum.toyota.aichi.jp/

会 期 : 2017年7月15日(土) - 9月24日(日)

開館時間 : 午前10時 - 午後5時30分 (入場は5時まで)

休 館 日 : 月曜日 (8月14日、9月18日は開館)



★今年の甲子園も熱い！！

去る8月11日(金)祝日に全国高校野球選手権大会が行われている甲子園球場に沖縄代表の興南高校の応援に行って参りました。3日には神戸ウオーター・瓦煎餅を安廣理事が代表して宿舍に差し入れもしました。当日は祝日でしかも4試合強豪校が対戦するという超人気の日で、興南高校対智弁和歌山の試合は第3試合でしたが、間違いなく満員札止めになると確信した私は早朝6時10分に甲子園に行きました。予想通り内野、アルプスチケット購入の人の列が改札口まで伸びていて、早々に無料の外野席へ



と移動し、何とか席を確保しました。7時40分には外野席も満員になり、その後も次から次へと大勢の高校野球ファンが来られていましたが、ただ通路を歩いて出口へと戻るのみでした。待ちに待った第3試合、序盤3回に一举6点を入れ、大いに盛り上がる1塁アルプスの興南高校の大応援団。沖縄独特の指笛応援でさらにヒートアップしていました。しかしながら中盤からは智弁のホームラン攻勢を受け6対9で敗戦してしまいました。しかしながら興南高校の球児たちは下を向くことなく、きびきびとしたその立ち振る舞いに万人の観客から大きな拍手が送られていました。来年も熱い想いを持って甲子園に来て下さい！沖縄の高校球児の皆さん、来年も力一杯応援させて頂きますね！！



★編集後記

今年で72回目の終戦記念日を迎えましたね。数えきれない悲劇が起こった太平洋戦争でその末期の沖縄で、当時の島田叡沖縄県知事と共に多くの沖縄県民を救われたのが当時の荒井退造沖縄県警察部長です。荒井退造氏は栃木県出身ですが、沖縄県と兵庫県、そして栃木県の関係者が宇都宮で集い、「退造の生きざまから、何を学ぶべきか」というフォーラムが7月30日に開かれ久利理事長、安廣理事、古小神港ジャーナル編集長が参加しました。沖縄からも嘉数元副知事はじめ17名の方々が参加し、地元の熱意を感じました。島田氏の母校の同窓会、兵庫高武陽会小林正美副理事長は「若い



人々、世界の人々に二人を知ってほしい」として、功績を国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「世界の記憶」(世界記憶遺産)に申請する準備をしているそうです。戦時中、多くのユダヤ人を救った外交官の杉原千畝(すぎはらちうね)氏はとても有名ですが、杉原氏と同じか、それ以上に自身に及ぶ危険を顧みず、文字通り滅私奉公をされたお二人の存在を私達は忘れずに、次世代へと語り継がなくてはなりませんね。